

ゴミ減量やリサイクルを促進するために、  
国や地域によっては、リサイクルできない残  
飯や紙、プラスチック容器などの一般家庭  
ゴミの回収を有料化している。家庭だけでな  
く、学校や図書館などの公共施設でも、リサ  
イクル活動を進めていくために、有料化をし  
ていったらどうだろうか。  
確かに、一般家庭ゴミや公共施設でのゴミ  
有料化は家計や個人に負担をかけるだろう。  
しかし、ゴミを捨てるのに自らお金を払わな  
ければならないようになれば、誰でも無駄な  
ゴミを出さないように心掛けるだろうし、リ  
サイクルへの関心も高まっていくに違いない  
物を大事に使い、資源を浪費しないようにす  
ることは、自然環境の改善だけでなく、人間  
関係など、社会環境を豊かにしていくことに  
つながっていくと思う。  
私の住む台湾では、政府指定の有料のゴミ  
袋にはたいていのゴミは何でも捨てていいこ  
とになっっている。だが、ペットボトルや缶な

どの資源ゴミや生ゴミは、指定された方法で捨てるればお金はかからない。そのため市民はきちんとしてゴミの分別をして捨てる習慣を持つている。これは、他の国でも採用した方がいと思う。ゴミを捨てるという事は、環境に負担を与える事だし、その負担を取り除くには、人間の労働が必要となる。だから、お金がかかるのは、本来当たり前前のことなのだ。ゴミはただで捨てるものという考えを追放し有料であることが当然という事になれば、無料で捨てるられる資源ゴミや生ゴミは、お得なゴミという事になる。誰でも得はしたい。タダでもらえる物はもらっておこうとするように、ただで捨てるものは捨てるおこうとするものだ。そうやって、お得な気分とセットになったリサイクルが推進されていく。ゴミ捨てはお金のかかるもの。だから有料化は社会にとって避けられない。そうした意識改革を進めていけば、人々は進んでおりサイクル推進に協力していただくだろう。